

消化器内視鏡医

土岐 文武 FUMITAKE TOKI

前々院長の藤間弘行先生と父が大学の同級生で、親しくお付き合いさせていただいており、その関係で私も東京女子医大在籍中藤間病院（以下、当病院）にお世話になり、35年近くになりました。こどもの頃、父が胃のX線診断の勉強に毎週高崎から診療後に当病院に通っていたことを覚えています。

昭和45年に日本医科大学を卒業、東京女子医大消化器内科に入局。大学ではERCPを中心として、膵・胆道疾患の診断と治療に消化器内視鏡科准教授として約30年間携わってまいりました。平成16年定年退職。以後、高崎市の土岐医院で治療をしています。

当病院では、上部消化管内視鏡検査を担当させていただいています（稀に、ERCPも）。自分としては、患者さんに如何に楽に検査を受けていただけるかを第一に考えています。検査中は、常に、進行状態を説明、当病院では、被験者の目の前にモニターがあるので、ご自分の消化管の中をなるべく納得してお帰りいただけるように心がけています。

《学会・認定など》

日本消化器内視鏡学会専門医

日本消化器病学会専門医

日本内科学会認定内科医

日本胆道学会特別会員

日本膵臓学会特別会員

日本膵・胆管合流異常研究会特別会員

日本医師会認定産業医

《趣味・スポーツなど》

音楽鑑賞・楽器ギター・スキー